

第4回プレ検討委員会感想カード

- ◇ 議論の枠組みや座標ができつつありますが、まだ不十分だと思います。
- ◇ 問題点や検討したいテーマなど、やはり年配の方や年上の方の意識や観点にはかなわな部分が多い。自身の勉強不足もあると思うが、どう考えのおよばない頭を貢献させていくか考えたい。
- ◇ とりあえず「プレ検」お疲れ様でした。とりあえずシニアリーダーズクラブから会長が検討委員としてやらせていただきます。よろしくお願いします。
- ◇ 初参加でしたが、全くわからなかった「自治基本条例」について少し理解することができて良かった。人任せの町づくりを市民に（私に）何ができるかという視点での参加型の町づくりである為には、まず、広くこの方向性を市民に周知していくことが大切だと思った。それぞれの暮らしの中から考えた意見を色々な立場の方々から吸い上げることで、一步一步進めていけたら、市民の手による自治が、身近になっていくとの思いを強くもった。
- ◇ 前回(2回目)よりもレベルの高い話し合いだった。
- ◇ オープンスクエアの日時・会場等をみてもプレ検討委員会の話し合い成果がいかされていない。事務的に設定している。
的をしぼった話し合いができない場面があった。5月から5回全部出席しての感想です。レベルがまちまちで個人的な発言が目立ち、会議を効率的に進めるための進行方の準備不足を感じた。特に自己紹介。
- ◇ 自治基本条例の大枠の理解が出来た。こんな素敵なお田原をもっと市民に好かれる様に条例を作る大きな意義を感じます。頑張りまーす。今日は言いたいこと半分に参加しましたが・・・。
- ◇ 皆さん色々な意見が出て参考になりました。自分なりにもっともっと考えていきたい。
- ◇ 皆さんの様々な意見を聞き、とても勉強になりました。
- ◇ 小田原のビジョン（どんな街に住みたいか）を実現するための方法を作るのが自治基本条例と考えているが問題ないか。
- ◇ 結果に対する評価のシステムをすべての事柄（制定した条例、行政の行ったこと、議会の行ったこと、市民の活動等）に標準装備としたい。
どうする。どうしたらいい。に重きをおいた議論となりますように。
- ◇ 30数名集まっただけでも多様な意見提案があった。更に多く人が加われば思いもよらない良い意見が出てくると思う。その内容をどのように条例に継げていくかが重要である。
- ◇ 本日は進め方説明についての質疑応答の時間が長かつらかった。たしかに基本を理解してもらうためには時間がかかるのはわかるが・・・
今、何を話すべき時間なのか・・・を参加者がもっとよく理解して話し合えばと思うのですが。

- ◇ 松下先生のお話の中に市民感覚で考えて！という言葉がありその通りだなと思いました。今日はじめて参加の方もあり、すばらしいことだと思います。一人でも多くの市民の方に参加してもらいたいと思います。それには、できるだけかきねの低いものであってほしいと。参加する市民も行政も議会もウエルカムな気持ちを大切にしてほしいです。
- ◇ 初めての参加です。KJ 法も初めて体験でき、同じ班になった方と話し合えて楽しかったです。
- ◇ オープンスクエアになるべく参加し、我々の声が市政に反映される街づくりを目指したいと思います。
- ◇ プレ検討委員会の発展的解消後のオープンスクエア方式に大いに期待する。是非、再々度市民への PR を知恵と工夫でお願いいたします。(自身の PR 活動は友人知人他に努力を継続します。)
- ◇ 住民・市民への PR が不足していると思う。今後の市政が行う物事に非常に重要な条例となるので、市民が無関心では困る。何故必要かの説明が難しい。条例化としての制度となり文章となる。
トライフォーラムなど他の検討していることと重複していることもあり、参加した皆さんは他の検討会などを知っているか聞きたいと思う。平成 23 年 4 月 1 日より施行の新総合計画に他の検討委員会の内容も組込まれると思うが、ほとんどの住民(市民)は知らない。
- ◇ 初めての参加です。私は今部落で公民館活動をしておりますので、そのことを少しでも役立てたらと思い参加致しました。大変有意義な会合でした。
- ◇ [オープンスクエア]のテーマについて、仮設定・提案～大まかに言って[よい・適切]と思います。他の市町の事例も参考に活かしながら、リード、コーディネートして行ってください。5 団体も適当だと思います。いずれにしても広やかな柔軟な対応で、市民意識を掘り起こしてください。5 班/いいチームワークでした。
- ◇ 勉強不足を痛感しました。もっと勉強して今後もできるだけ参加したいと思います。
- ◇ 今回のプレ検討委員会の参加人数が少ない感じました。何故なのか？
- ◇ 今までの意見が次のオープンスクエアにつながる様に、そして、多くの市民の意見を聞くにはどの様にしたら良いかを決めていった方が良いと思う。
- ◇ 多くの参加者が同じ考えの方が多い。どんどん意見を吸い上げてほしい。市民の方へピーアールが必要で行政も開かれた条件を作してほしい。
- ◇ 資料は通し番号を付けていただきたい。
- ◇ 市民意見の聴取という基本的作業にもっと知恵をしばりたい。
市民自身が自分達で作ったという達成感を持って素案策定したい。
- ◇ いろいろな人が集まるといろいろなアイデアが出るものだと思う。意見だけ聞いて参考にだけするのではないかという疑いを持ちながらだと思いついたことは言えない。メンバーに信頼を持たせるための工夫も必要だ。

- ◇ 日程等について「行政主導だ〜！」と不満の声がありましたが、今日の今日まで参加している人は「活動人材」なので、各人が「第3回プレ」の「声をききたい人・団体」などへ聞いてまわってもらう人材へと変わってくれるよう促してみてもいいかがですか？（私は聞いてまわるつもりでしたが、参加者の認識の違いがありますね）